

第2号様式(第10条、第11条の2、第12条、第15条、第19条、第20条、第21条、第22条、第23条関係)

(表面)

※連絡のつきやすい電話番号を記入

本籍地 (都道府県名)	大分県		勤務先及び 現職名		
現住所	大分市府内町1-1-1 TEL 090-1234-5678		氏名 (旧姓) (通称名)	大分 一郎 平成2年3月4日生	
履 歴 書					
年月日	学業、免許状、業務		発令者	年月日	学業、免許状、業務
H7 4	大分市立〇〇小学校入学				
H13 3	同校卒業				
H13 4	大分市立〇〇中学校入学				
H14 9	同校転出				
H14 9	大分市立〇〇中学校転入				
H16 3	同校卒業				
H16 4	大分県立〇〇高等学校入学				
H19 3 24	同校卒業				
H19 4 5	〇〇大学〇〇学部入学				
H23 3 25	同校卒業				
	学士(〇〇)の学位を得る				
	小学校教諭一種免許状を受ける 平22小1第1000号		〇〇県教育委員会		
H24 4 1	〇〇会社入社				
H27 3 31	〇〇会社退社				
H27 4 1	〇〇市立〇〇小学校臨時講師		〇〇県教育委員会		
H28 3 30	〇〇市立〇〇小学校臨時講師任期満了				
H28 4 1	〇〇市立〇〇小学校教諭に補する		〇〇県教育委員会		
R4 5 20	現在同校勤務中				
	上記のとおり相違ないこと証明する。 令和4年5月20日 〇〇小学校校長 〇〇 〇〇印(公印)				
履歴図表			※学校等(保育園等も含む)に現在勤務していない場合の末尾は次による。(例:民間会社勤務やアルバイト、現役学生等の場合) 上記のとおり相違ありません 令和4年5月20日 大分 一郎 印		
実修業年数	年				
在職年数	年				

備考

- 1 旧姓及び通称名の記入は、任意とする。
- 2 記載要領は、裏面の「記入上の注意」を参照のこと。

記載上の注意

1. 履歴書の記載について

- イ. 学業については、小学校入学より最終学校に至るまですべて入学、卒業とともに記載し、その学校における修業の年数を明示すること。
 - ロ. 免許状及び業務については、年次順に記載し、免許状についてはその種類及び番号を記載すること。
 - ハ. 教職における在職年数を申請の要件とする者にあつては、採用退職の年月日又は休職期間を特に明示すること。
- 二. 給与関係は記入を要しない。
- ホ. 履歴書の末尾には、記載事項について相違のない旨の所属長の証明を付すこと。
(現職でない場合は、記載事項に相違ない旨、年月日及び氏名を記入し、印を押印すること。)

2. 履歴書の記載例

年月日	学業、免許状、業務	発令者	年月日	学業、免許状、業務	発令者
昭55 4 5	〇〇小学校入学		令〇 〇 〇	現在同校勤務中	
昭61 3 20	同校卒業			上記のとおり相違ないことを証明する	
昭61 4 5	〇〇中学校入学			令和〇年〇月〇日	
平1 3 20	同校卒業			〇〇中学校長 〇〇〇印	
平1 4 5	〇〇高等学校入学				
平4 3 20	同校卒業				
平4 4 5	〇〇大学〇〇学部〇〇科入学				
平8 3 25	同校卒業				
平8 3 25	学士(〇〇)の学位を授与される				
平8 3 25	中学校教諭一種免許状(国語)を受ける 平7中1第0078号	大分県教委			
平8 4 1	〇〇中学校教諭に補する	大分県教委			

3. 履歴図表の記載について

- イ. 実修業年数の欄には1のイにならって、それぞれの学校の実修業年数の和を記入する。
- ロ. 在職年数の欄には1のハにならって通算された在職年数を記入する。

4. 履歴図表の記載例

履歴図表								
実修業年数	16年	小	中	高	大	家庭	中学校	
在職年数	年	6	3	3	4			